

通

信

簿

大学の

センター試験や私立大の入試が目前に迫ってきた。高校3年生を送り出したら、すぐに次の学年の大学選び。大学通信では毎年全国の進路指導教諭にオススの大学を聞いています。エキスパートの意見を参考に、志望校にイチオシの大学を探していただきたい。

**684進学校
進路指導教諭が
大学をジャッジ!**



大学には年々入りやすくなっている。少子化が大きな理由だが、それに加えて、大学と学部が増えていることも要因の一つだ。2007年と17年を比較すると、受験生数は2.3%減っているのに対し、57大学が新設され、大学への入学者は2.6%増加した。受験生が減り受け入れ枠が広がった結果として、大学には入りやすくなった。

進学できる大学の数が増えると、今度は志望校選びが難しくなる。そこで参考にしたのがエキスパートの意見。大学通信は毎年、全国の約2000進学校の進路指導教諭にアンケートを実施しており、17年の調査では684校から回答を得た。項目別にオススの大学について5校連記で記入してもらい、最初の大学を5ポイント、次を4

ポイント...として集計した。その結果を順に見ていこう。

面倒見の良さ 13年連続トップの金沢工業大

まずは表1の「面倒見が良い大学」を見てみよう。トップは調査開始以来、13年連続で金沢工業大。395ポイントで、2位以下に倍以上の大差をつけている。具体的な声を拾うと、「個別指導だけでなく、卒業後につながる大学の学びを波及している」(秋田・県立高)、「基礎、基本からしっかり教育し、教員に質問しやすい環境をつくり、就職にも強い」(栃木・私立高)、「高校時代に学力が厳しい生徒でも4年後きちんと卒業し就職できている」(愛媛・県



表1
面倒見が良い大学

順位	学校名	所在地	ポイント
1	◎ 金沢工業大	石川	395
2	※ 東北大	宮城	161
3	◎ 武蔵大	東京	149
4	国際教養大	秋田	106
5	◎ 明治大	東京	82
6	◎ 立命館大	京都	73
7	◎ 産業能率大	東京	59
8	◎ 福岡工業大	福岡	46
9	高知工科大	高知	44
10	秋田県立大	秋田	42
11	◎ 昭和女子大	東京	41
12	◎ 国際基督教大	東京	40
13	◎ 近畿大	大阪	38
14	※ 東京大	東京	37
15	◎ 学習院大	東京	35
	◎ 津田塾大	東京	35
17	※ 山形大	山形	34
18	※ 九州工業大	福岡	33
19	◎ 明治学院大	東京	31
20	富山県立大	富山	30
	◎ 神奈川工科大	神奈川	30
22	◎ 東京理科大	東京	28
	◎ 日本大	東京	28
	◎ 名古屋商科大	愛知	28
25	◎ 成蹊大	東京	26
	◎ 甲南大	兵庫	26
27	◎ 立教大	東京	25
28	◎ 神田外語大	千葉	24
29	※ 福井大	福井	23
	◎ 京都産業大	京都	23

※は国立、無印は公立、◎は私立を表す



表3

教育力が高い大学

順位	学校名	所在地	ポイント	順位	学校名	所在地	ポイント
1	※ 東京大	東京	701	16	※ 広島大	広島	37
2	※ 京都大	京都	410	17	※ 北海道大	北海道	36
3	※ 東北大	宮城	321	18	◎ 上智大	東京	34
4	◎ 東京理科大	東京	166	19	◎ 同志社大	京都	32
5	国際教養大	秋田	145	20	◎ 武蔵大	東京	28
6	※ 大阪大	大阪	140	◎ 立教大	東京	28	
7	◎ 早稲田大	東京	120	22	◎ 日本大	東京	25
8	◎ 慶應義塾大	東京	105	23	◎ 中央大	東京	21
9	※ 名古屋大	愛知	101	24	※ 名古屋工業大	愛知	18
10	※ 東京工業大	東京	86	25	◎ 産業能率大	東京	17
11	◎ 国際基督教大	東京	81	◎ 立命館大	京都	17	
12	※ 九州大	福岡	74	27	※ 東京外国語大	東京	16
13	※ 筑波大	茨城	64	※ 九州工業大	福岡	16	
14	◎ 金沢工業大	石川	59	29	※ 神戸大	兵庫	15
15	※ 一橋大	東京	42	◎ 大阪工業大	大阪	15	

4位は法政大で、私立大が上位を占めた。また、ランキングには実就職率(就職者数÷卒業生数×100)が高い大学も多くなっている。卒業生数1000人以上で今年、実就職率トップだった金沢工業大が2位に入り、2位で国立大9年連続トップの福井大が6位。8位で女子

大トップの昭和女子大が21位で、「就職に力を入れている大学」でも女子大トップの評価だ。次に表3の「教育力が高い大学」を見てみよう。ここでは東京大、京都大、東北大は11年連続でトップ3を占めた。東京大は11年連続でトップを続けている。進路指導教諭の評価には「しっかりと

表2

就職に力を入れている大学

順位	学校名	所在地	ポイント
1	◎ 明治大	東京	394
2	◎ 金沢工業大	石川	211
3	◎ 立命館大	京都	130
4	◎ 法政大	東京	125
5	※ 九州工業大	福岡	91
6	※ 福井大	福井	72
◎ 中央大	東京	72	
8	◎ 産業能率大	東京	71
9	◎ 青山学院大	東京	68
10	◎ 近畿大	大阪	65
11	◎ 日本大	東京	58
12	◎ 東京理科大	東京	55
13	◎ 早稲田大	東京	51
14	※ 一橋大	東京	48
15	◎ 立教大	東京	47
16	◎ 福岡工業大	福岡	46
17	◎ 関西大	大阪	41
18	◎ 京都産業大	京都	38
19	◎ 慶應義塾大	東京	35
◎ 大阪工業大	大阪	35	
21	◎ 昭和女子大	東京	31
22	◎ 芝浦工業大	東京	30
◎ 豊田工業大	愛知	30	
24	国際教養大	秋田	29
◎ 専修大	東京	29	
26	※ 東京大	東京	28
◎ 東京都市大	東京	28	
28	富山県立大	富山	27
◎ 武蔵大	東京	27	
30	◎ 学習院大	東京	26
◎ 東洋大	東京	26	

立高)などとなっている。学習支援を中心とした教育への評価が高いことが分かる。00年から他大学に先駆けて数理工教育センターを設置し、高校の数学・理科の復習から大学の専門領域で活用できる数理解習まで、個別学習指導が受けられるようにしている。それ以外にも各種教材、課外学習プログラムなどを充実させている。大学関係者はこう話す。

「PBL(課題解決型学習)教育の草分けであるプロジェクトデザインの授業を1995年から始めています。しかし、この授業を進めていくには、学生に数理や専門基礎力がないといけません。技術者としてイノベーションを創出していくために、基礎、基本をおろそかにできないのです。これをしっかりと身につけることで、今後、目まぐるしく変わる技術革新についていけるし、企業からも評価され、就職の良さにつながっているのではないしょう」

2位は東北大、3位は武蔵大、4位は国際教養大、5位は明治大と続く。東北大については「比較的少人数教育で、学生の能力伸長に尽力している(埼玉・県立高)」、「AO入試制度が定着し、やる気のある学生に質の高い教授陣が教えていること(栃木・私立高)」などの評価だ。3位の武蔵大は「ゼミの武蔵」と言われるほど、ゼミナール形式の授業で有名だ。少人数教育のゼミナールを昔から実践してきたことで、進路指導教諭の評価も「ゼミ、学生センタリ、教員など、多方面から学生へアプローチして指導し、面談の機会も多い(東京・私立高)」、「学生一人一人に注視している点(東京・都立高)など、

ゼミについてのものが多くなっている。ゼミについてのものが多くなっている。ゼミについてのものが多くなっている。

次に表2の「就職に力を入れている大学」を見ていこう。トップは8年連続で明治大。進路指導教諭からは「大規模な割に就職などの面でも昔から親身な指導をしている(神奈川・県立高)」などと高く評価されている。学生の就活サポートに力を入れていることで知られ、有名企業に強い。今年の就職先を見ると、みずほFG87人、損害保険ジャパン日本興亜51人、三井住友海上火災保険48人、三菱東京UFJ銀行45人など、学生に人気の金融に強いことがわかる。

2位は金沢工業大、3位は立命館大、

Kobe Kaisei College

“超”小人数制の環境が高評価

神戸海星女子学院大学

「小規模だが評価できる大学」で19位にランクインした神戸海星女子学院大学。学数の多い近畿地方において、私立大トップの評価を得ている。この高評価の理由について、詳しくみてみよう。

小規模大学の魅力は、学生数が少ないからこその手厚い指導とサポート体制だ。中でも神戸海星女子学院大学はまさに「超」小人数と呼べる環境。全人教育により「人を支え、輝く。」自立した女性を育てる教育を実践し、高等学校の進路指導教諭から高い評価を得ている。

特に、3・4年次の専門ゼミナールは概ね学生10名以下と少ない。実技・実習科目でもマンツーマンの指導を徹底しており、学生と教員のきめ細かな関わりは入学から卒業まで一貫して続く。

就職面でも小規模大学の強みが生かされる。キャリアセンターでは1年次から教員と就職担当職員が学生一人ひとりの思いに耳を傾け、個性と適性を共に確認しながら指導を実施。電話やメールも活用しながら親身にサポートを行っていく。指導方針は学生の主体性を引き出すこと。イメージで就職先を決めることをせず、学生自身が自分にとって最適な進路を主体的

に考え、発見できるように導いていく。小規模大学でありながら、キャリア支援プログラムの多彩さは他大学に負けていない。代表的なものは、各種の就職支援ガイダンスや、全20回の就職準備セミナーなどだ。教員志望者に対しては保育・教職センターがサポート。2017年卒業生の幼稚園教諭および保育士への実就職率(*)は、ともに近畿の女子大で2位の実績を誇る。また、観光業界志望者を対象とした特別講座を開講するなど、学生それぞれの希望に応えられるサポート体制を整えている。

さらに、インターンシップにも注力。国内外の多様な企業・団体を受け入れ先として確保し、学生の挑戦を後押しする。実際の仕事の体験を適性発見や職業観の醸成に役立てるのがねらいだ。「超」小人数教育で学生一人ひとりをしっかりとサポート。神戸海星女子学院大学のこういった強みが、高等学校の進路指導教諭から高く評価される理由ではないだろうか。

*実就職率=就職者数÷卒業生数×100で算出



4

表4
研究力が高い大学

順位	学校名	所在地	ポイント
1	※ 東京大	東京	1,147
2	※ 京都大	京都	952
3	※ 東北大	宮城	491
4	※ 大阪大	大阪	247
5	※ 東京工業大	東京	234
	※ 名古屋大	愛知	234
7	※ 九州大	福岡	116
8	◎ 東京理科大	東京	98
9	※ 筑波大	茨城	97
10	◎ 近畿大	大阪	62
11	◎ 慶應義塾大	東京	59
12	※ 北海道大	北海道	56
13	◎ 早稲田大	東京	42
14	※ 広島大	広島	36
15	※ 一橋大	東京	22
16	◎ 芝浦工業大	東京	20
17	※ 九州工業大	福岡	19
18	※ 信州大	長野	18
	◎ 金沢工業大	石川	18
20	※ 千葉大	千葉	17
21	◎ 日本大	東京	16
22	※ 名古屋工業大	愛知	14
23	◎ 豊田工業大	愛知	13
24	首都大東京	東京	12
25	◎ 立命館大	京都	11
26	※ 岐阜大	岐阜	10
	◎ 学習院大	東京	10
	◎ 大阪工業大	大阪	10
29	※ 鳥取大	鳥取	9
	大阪府立大	大阪	9

た学びを提供できる教授陣とそれを円滑にする施設の充実(「神奈川・私立高」)、「予算が大きく、研究に力を入れ、スタッフが充実している」(静岡・県立高)などがある。

また、評価の中には、「研究のレベルの高さが教育のレベルに結びついている」(静岡・私立高)、「大学の教育力は研究力によってつくられる」(大阪・府立高)、「学術研究が充実していることが教育力にもつながると考える」(宮崎・県立高)などの声もある。大学の使命は研究と教育、さらには社会貢献と言われるが、中でも研究と教育が車の両輪にあたるほど重要。進路指導教諭には「いい研究を行って、最先端の知を学生に教えるのが大学」という考えが根強いことが表れている。そのため、表4の「研究力が高い大学」は、表

3の「教育力が高い大学」と似た顔ぶれとなっている。トップの東京大、2位の京都市大、3位の東北大の3校は、表3のトップ3と同じだった。国立大が強いのも特徴で、私立大トップは8位の東京理科大だ。

少人数制による手厚い教育が高い評価

表5「小規模だが評価できる大学」のトップは国際教養大だった。以下、武蔵大、国際基督教大、金沢工業大、会津大、成蹊大の順だ。単科大学が多いのが特徴で、しかも理工系大学より文系学部の大学が多い。文系学部では学生数が多いのが普通だが、小規模大学では少人数教育を軸に学生と教職員との距離が近いことで、手厚い教育を行

っていることが評価されていると見られる。

表6の「入学後、生徒を伸ばしてくれる大学」は東北大がトップ。次いで東京大、東京理科大、金沢工業大、国際教養大の順だ。3位の東京理科大は表3「教育力が高い大学」でも全体4位で私立大トップ。進路指導教諭の評価を見ると、「進級が厳しいがサポートもしっかりしている」(茨城・県立高)、「学内では勉強が本当に大変そうだが鍛えられている」(東京・私立高)などがある。このことについて、大学関係者に聞いた。「基礎、基本を大事にし、1年次にしっかり勉強しないと2年に進級できません。1年次は演習の授業も多く、レポートもたくさん書かせます。戦前よりもっと厳しく、4年での卒業率が5%という年もありました。もちろん今



5

表5
小規模だが評価できる大学

順位	学校名	所在地	ポイント
1	国際教養大	秋田	266
2	◎ 武蔵大	東京	183
3	◎ 国際基督教大	東京	179
4	◎ 金沢工業大	石川	110
5	会津大	福島	87
6	◎ 成蹊大	東京	62
7	◎ 産業能率大	東京	56
8	都留文科大	山梨	54
9	※ 一橋大	東京	53
	◎ 津田塾大	東京	53
11	◎ 明治学院大	東京	46
12	秋田県立大	秋田	44
13	高知工科大	高知	40
14	◎ 成城大	東京	36
15	◎ 神田外語大	千葉	35
	◎ 学習院大	東京	35
17	※ 京都工芸繊維大	京都	34
18	※ 九州工業大	福岡	33
19	◎ 神戸海星女子学院大	兵庫	30
20	◎ 立命館アジア太平洋大	大分	29

は違いますが、できるまでやらせる方針で、学生は自主的に学んでいます。大学院生や高学年の学生に相談できるシステムもあり、サポートもしています。こういった教育が、就職の良さにもつながっているのだと思います。企業からも「理科大の卒業生には外れない」と言われます」

表7と表8は「偏差値や地理的、親の資力などの制約がない場合、生徒に勧めたい大学」だ。表7の国公立大では、3年連続トップの東京大、次いで京都市大、東北大の順で、ベスト10には旧七帝大と一橋大、東京工業大の国立難関9大学が入った。残り1校は公立の国際教養大だ。11位以下でも準難関大と言われる筑波大、神戸大、千葉大、横浜国立大などが続き、難易度順ととってもいいランキングとなった。やはり難関大学はいろいろな視点から高い評価を受けており、それが受験生や保護者に勧める理由と見られる。

また3位の東北大は表6「入学後、生徒を伸ばしてくれる大学」でもトップ。東京大、京都大に続くのは東北大との評価になってきている。予備校関係者はこう話す。

「文部科学大臣が世界最高水準の教育研究活動の展開が見込める国立大学法人を指定国立大学法人にしましたが、そこに東大、京大とともに東北大が指定され、3校だけだったことでその効果も大きかったようです。さらに今、

表6
入学後、生徒を伸ばしてくれる大学

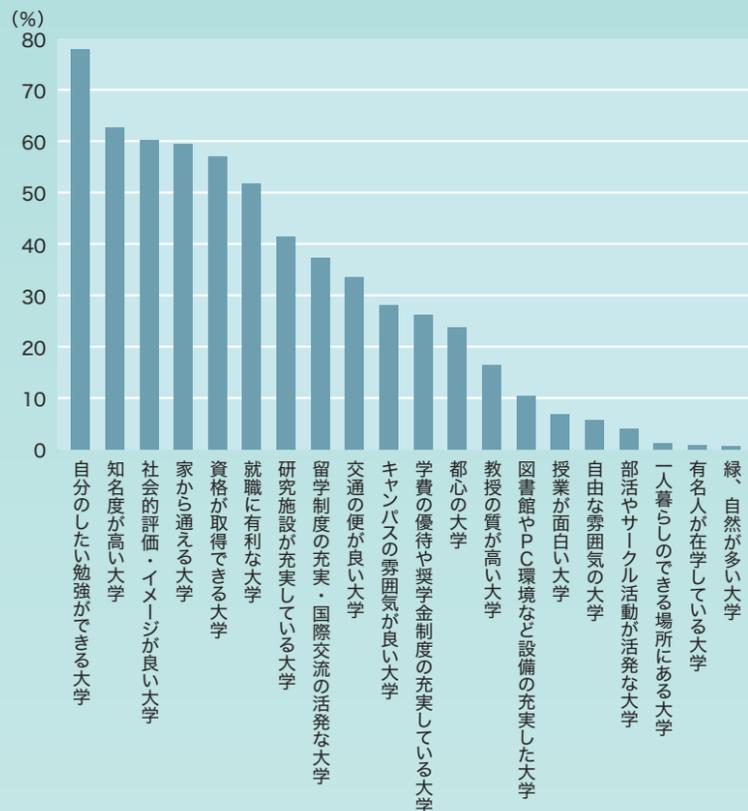
順位	学校名	所在地	ポイント
1	※ 東北大	宮城	242
2	※ 東京大	東京	211
3	◎ 東京理科大	東京	159
4	◎ 金沢工業大	石川	136
5	国際教養大	秋田	110
6	※ 京都大	京都	97
7	◎ 国際基督教大	東京	81
8	◎ 産業能率大	東京	58
9	※ 大阪大	大阪	57
10	◎ 早稲田大	東京	55
11	※ 北海道大	北海道	53
12	※ 東京工業大	東京	49
13	◎ 神田外語大	千葉	48
14	◎ 慶應義塾大	東京	44
15	※ 名古屋大	愛知	40
16	◎ 明治大	東京	39
17	◎ 武蔵大	東京	38
18	◎ 日本大	東京	35
19	※ 九州大	福岡	34
20	※ 筑波大	茨城	31

6



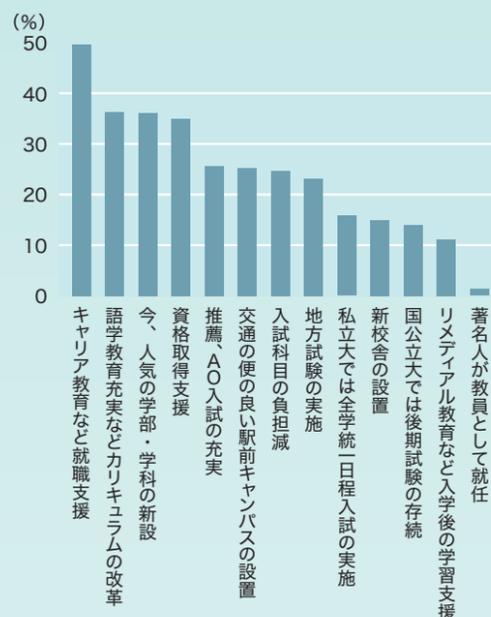
グラフ1

生徒に人気のある大学は
どのような大学でしょうか？(複数回答可)



グラフ2

大学は改革を実施し、受験生に魅力をアピールしよう
としていますが、こういった改革が受験生に
受け入れられているのでしょうか？(複数回答可)



高大接続改革が進められていますが、東北大はそれに適合したAOや推薦入試を長年実施していて、それらの入試で入学する学生は第一志望のため入学後も頑張ることで満足度も高く、高校からの評価も高いのが理由です」

一方、表8の私立大を見ると、トップは慶應義塾大、2位が早稲田大で、この2校が3位以下に大差をつけてい

る。次いで国際基督教大、東京理科大、上智大、同志社大、明治大の順だ。私立大も国公立大と同様に難関大が上位に入っている。

次に「グラフ1」を見ていこう。「生徒に人気のある大学」を個別名ではなく、その特徴から聞いたものだ。「自分のしたい勉強ができる」が77.8%で7年連続トップだ。次いで「知名度が高い」

「社会的評価・イメージが良い」が続く。昨年6位だった「家から通える」の順位が上がっており、高校生の地元大学進学志向が、ますます強くなっている。

「グラフ2」受験生に受け入れられる改革」では、トップは「キャリア教育など就職支援」で49.7%、2位は「語学教育充実などカリキュラムの改革」だった。大学生の就職は売り手市場で就職は好

調だが、まだまだ就職支援への期待は大きい。

数多くの大学の中で、入学できるのはたったの1校。大学にはいろいろな特徴があり、難易度や就職実績などだけでは教育の内容までは見えてこない。受験生一人ひとりがミスマッチなく大学・学部選びをできるように、エキスパートの意見を活用してほしい。

表8

偏差値や地理的、
親の資力などの制約がない場合、
生徒に勧めたい私立大学

順位	学校名	所在地	ポイント
1	慶應義塾大	東京	878
2	早稲田大	東京	868
3	国際基督教大	東京	345
4	東京理科大	東京	258
5	上智大	東京	232
6	同志社大	京都	213
7	明治大	東京	208
8	立命館大	京都	104
9	立教大	東京	102
10	青山学院大	東京	73
11	金沢工業大	石川	71
12	中央大	東京	68
13	近畿大	大阪	65
14	関西学院大	兵庫	61
15	法政大	東京	59
16	立命館アジア太平洋大	大分	51
17	関西大	大阪	48
18	学習院大	東京	42
19	南山大	愛知	39
20	東洋大	東京	32
21	津田塾大	東京	26
22	豊田工業大	愛知	24
23	神田外国語大	千葉	19
24	日本大	東京	18
25	神戸女学院大	兵庫	17
26	芝浦工業大	東京	15
	武蔵大	東京	15
28	西南学院大	福岡	14
29	愛知大	愛知	13
	甲南大	兵庫	13

表7

偏差値や地理的、
親の資力などの制約がない場合、
生徒に勧めたい国公立大学

順位	学校名	所在地	ポイント
1	※ 東京大	東京	1,119
2	※ 京大	京都	937
3	※ 東北大	宮城	489
4	※ 大阪大	大阪	273
5	※ 東京工業大	東京	253
6	※ 名古屋大	愛知	224
7	国際教養大	秋田	211
8	※ 一橋大	東京	203
9	※ 北海道大	北海道	168
10	※ 九州大	福岡	144
11	※ 筑波大	茨城	125
12	※ 神戸大	兵庫	88
13	※ 千葉大	千葉	64
14	※ 横浜国立大	神奈川	57
15	※ 東京外国語大	東京	54
16	※ 広島大	広島	46
17	首都大東京	東京	45
18	※ 金沢大	石川	32
	※ 岡山大	岡山	32
20	※ 信州大	長野	27
21	※ 山形大	山形	23
	横浜市立大	神奈川	23
23	※ 茨城大	茨城	22
24	※ 電気通信大	東京	20
25	※ 九州工業大	福岡	19
26	※ 鳥取大	鳥取	18
27	※ 秋田大	秋田	17
	※ お茶の水女子大	東京	17
29	※ 東京農工大	東京	16
	大阪市立大	大阪	16